

1. 日時・場所

令和元年 5 月 26 日（日） 15:15～16:05 於、町会会館

2. 出席者

町田会長 嶋田監事 角田監事 河合副会長 新井副会長 田口副会長 大塚会計 金塚洋会計
一部 石井 梅原 金塚政 倉橋 中村
二部 川添 大島
三部 飯塚 岩波 中澤 平山 宮川 山澤 21 名 他委任状多数。

3. 議 題

- 1) 前回振返り
- 2) 会長より
- 3) 祭礼予算（田口祭礼実行委員長）
- 4) 古紙回収事業予算（田口古紙回収事業担当）
- 5) 中元の件（飯塚総務部長）
- 6) その他

バスハイク参加者、班長名簿作成報告、総会議事録に添付する決算報告書の監事印鑑省略、町会ニュース 6 月号（総会報告）、ホームページその後（6/1 オープン）等々。

4. 議事結果

0) 議事録署名人

一部、梅原、大塚両役員とする。

1) 前回のおさらい

- ① 役員会定足数規定を緩和する。監事を除く役員現在数の 3 分の 1 以上とする。（現行監事も含めて 2 分の 1）併せて、合同会議の定足数規程を廃止する。^注
- ② 「防犯パトロール&回覧物仕分け」の担当を、一部の役員だけでなく、全員を以って AB 二班に編成し直した。
- ③ 定時総会の式次第を決定し、各議題の内容（総会に諮る意図・趣旨など）について承認した。
- ④ ホームページの開設案を採択した。文洋株式会社の町会インフォサービスを利用する。この費用を捻出するため、現在会館に引いてあるインターネット回線を外すことにした。

2) 会長より

注) この件は来年の総会に先送りとする。

- ① 総会にて役員改選案は原案通り承認された。改めてこの2年間、地域のために頑張っていくので、一層の協力をお願いする。
- ② 清掃功労者に斉須さんを推薦する。
- ③ 本年の祭礼には本社神輿出御を実施することになる（予定）。時刻等詳細は未定。
- ④ 本社神輿蔵建設に20万円を寄付する。かねて不明であったこの寄付に関する経緯や背景について、栗橋氏子総代会会長より電話で直接説明があった。

3) 祭礼予算

収支ともに200万円とする予算案を承認した。

収入は前年比2%増で、奉納金150万円、献灯料21万円などが主である。

支出は同10%減で、工事費26万円、神輿渡御山車巡行25万円、電気工事費24万5千円、模擬店23万5千円、手拭い20万5千円などが主である。

工事費については未定部分もあり、昨年一昨年の同支払について確認することにした。

4) 古紙回収事業予算

24万9千円の赤字予算を決定した。

収入は古紙売上げ13万円と北区報奨金19万円で合わせて32万円。対して支出は王子神社神輿蔵寄付金に20万円、新年会補助7万5千円など合わせて56万9千円である。

自衛隊協力会費は4万円、役員旅行助成金はゼロとした。

5) 中元の件

対象者を確認した。班長58名役員42名交通看板御礼10名の計110名（重複あり）。

6) その他

- ① 6月9日町会バスハイク参加申込は22名である。（石井厚青部長）
- ② 本年度班長名簿完成。会長・地区部長に配布のほか和室キャビネットに保管する。
- ③ 総会議事録に添付する決算報告書の監事印は省略することを了承した。（〃）
- ④ 総務よりホームページオープンは6月1日との報告があった。（〃）
- ⑤ 参院選投票日は7月21日となるの見通し。（山澤部長）
- ⑥ 会館修繕（防水工事、屋根の修理等）は5月末完了見込み。（町田会長）

以上

議事録署名人

本議事録は当該役員会における主要な決議について、その要旨を正しく記録するものと認める。

令和元年5月 日

_____（自書）

_____（自書）